

2022年度 中国語学科 夏期海外研修レポート

提出者：武藤そよか

所属：中国語学科 2年次

私にとって、二週間の海外研修は非常によい経験になりました。語学の授業では、全てが中国語で進むので理解することにはじめは苦戦をしました。しかし、先生が画像を見せてくれたり、わかりやすい中国語に言い換えたりしてくれたので、理解することができました。また、宿題が出たことも授業の復習や予習をする機会になりました。さらに、話す機会が多く、その中で発音などの指導を直接して下さったのでよかったです。

現地の大学院生1人と日本人学生2人による少人数の授業「語伴辅导」では、私たちが興味あることを聞いて、それをもとに授業をしてくれました。中国のドラマを見たり、若者の流行の場所や音楽を教えてくれたり、興味があることを教えてくれたので楽しかったです。少人数だったため中国語もたくさん話すことができました。これらの語学の授業を通してリスニング力や話す力がつきました。これらの研修は、大学の授業での中国語のリスニングや作文、PUTでの会話で活かすことができます。

文化の授業では中国の旧暦や衣服、建物について話を聞きました。これも全編中国語で理解をすることは大変でしたが、画像や動画でわかりやすく説明してくれたため、中国の文化について知り、日本の文化との違いを知ることができました。私は特に中国の衣服の歴史が面白かったです。

インターンシップではキューピーとイオンの方からお話を聞きました。どちらも日本の企業ですが中国では販売方法や売れる商品が異なり、日本と比べることができたことが興味深かったです。また、現地で働いている人から、中国のことについて知ることができてよかったです。中国と日本の働き方の違いを知ることができたことは、就職活動にも役立つと思いました。

2週間の研修は忙しかったけれども、大学の授業ではできない経験をすることができたので、とても有意義な研修となりました。